

FREE

ご自由にお持ちください。

No.822

2022 March

3

岐阜県の森林・林業

も り
森林のたより



News of the forest



令和3年度 岐阜県緑化運動ポスターコンクール
入賞作品が決定しました!

最 優 秀

小学校低学年の部



高山市立東小学校1年
やのほらこよ
矢筈原 呼世さん

小学校高学年の部



高山市立東小学校4年
やのほらきの
矢筈原 綺乃さん

中学校の部



本巣市立糸貫中学校2年
いしざきたいち
石崎 太一さん

高等学校の部



岐阜県立岐阜総合学園
高等学校3年
あだち まなか
足立 愛華さん

●詳細は19ページをご覧ください。



編集・発行 公益社団法人 岐阜県山林協会

E-mail sanrinag@quartz.ocn.ne.jp

http://www.g-forestry.or.jp (公社)岐阜県山林協会の情報をご覧ください。

開催日	行事名等	内容等 (概要、定員、受講料、申込期限など)	場所
			申込(問合せ)先/TEL
3月1日(火)~ 5月31日(火)	緑の募金(春期)	「緑の募金で進めようSDGs」をスローガンに家庭募金、企業募金、職場募金などを行います。	公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 TEL058-273-7577



目次 Contents

イベントカレンダー(一般向け) 2

岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアムによる
知事への要望活動 3

岐阜県みどりの少年団活動発表大会のご紹介 4

長森西小学校みどりの少年団
付知南小学校みどりの少年団が新たに結成されました!! 4

清流の国ぎふ 森と水を巡る旅 5

山の歳時記(199) フキノトウ I 6

山のおじやまむし(368) 一寸先は闇、ヤブキリ 7

ぎふ木遊館通信 8

morinosプログラム紹介!! 9

シリーズ「森林・環境税で緑豊かな清流の国ぎふづくり」(II) 10

シリーズ「住民主体の創意工夫ある森づくり・川づくり活動」 11

森林と人を活かす知恵(110) 山村に暮らす人々の証言を聞く 12

木の香るささふの施設(108) ショートステイ きすな 13

地域の人 木育と自然を子育てに活かす 14

研究コーナー シイタケの品質保持に向けた取り組み 15

普及コーナー 下呂地域における林業普及活動 16

スマート林業通信(2) 17

林業用無人化技術の現地見学会を開催 17

国有林の現場から(65) 18

国有林で山登り? 18

令和3年度岐阜県緑化運動ポスターコンクール
入賞作品が決定しました! 19

市況 20



表紙●詳細は19ページをご覧ください。

岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアムによる 知事への要望活動

～「清流の国ぎふ」の源である健全で豊かな森林を次世代につなげる林業・木材関連産業であるために～

岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム（以下、コンソーシアム）では、令和3年12月21日（火）に岐阜県庁において、岐阜県知事に対して林業・木材関連産業施策に関する68項目の提案・要望を行いました。

当日は、林業関係5団体（（公社）岐阜県山林協会・岐阜県森林組合連合会・岐阜県木材協同組合連合会・（一社）岐阜県林業経営者協会・（一社）岐阜県森林施業協会）の会長のほか、岐阜県議会林業活性化促進議員連盟の村下会長がオブザーバーとして出席しました。コンソーシアムの涌井理事長から古田知事へ要望書を手渡し、要望の趣旨説明を行いました。そして、農林水産省の林政審議会の委員である（一社）岐阜県林業経営者協会の中原会長より、国の最新動向を交えた提言の後、（公社）岐阜県山林協会の日置会長から提案・要望項目について一括して内容の説明が行われました。

古田知事からは、「来年度の予算編成に向けてしっかり検討させていただく」、「SDGsを一つ一つメンションするような要望書は唯一で先端をいっている」、「林業は地域から世界まで幅広い分野に関連する時代の最先端の産業であり、県としても応援していきたい」などのコメントをいただきました。

今後もコンソーシアムでは、「清流の国ぎふ」の源、SDGsの中核を担う産業として、岐阜県の林業・木材関連産業を成長産業とするために鋭意取り組んでいきます。

提案・要望項目

1. 森を活かし守る

～森林の多面的機能を維持・発揮する保全整備の推進～

- (1)山地防災力の強化
- (2)森や木と県民をつなげる場の提供
- (3)カーボンニュートラルに貢献する森林整備の推進
- (4)獣害対策の推進

2. 森づくりを支える

～地域の森林を活かし守り続けるための体制強化と人材育成～

- (1)市町村及び地域の森林管理体制強化に向けた支援
- (2)担い手の確保・育成
- (3)スマート林業の導入推進
- (4)労働安全対策の徹底

3. 森から木を届ける

～木質資源の生産効率化と安定供給体制の整備～

- (1)木材の生産効率化の推進
- (2)林業・木材産業におけるサプライチェーンの構築
- (3)安定供給に向けた製材工場等の体制の整備

4. 木の利用を広める

～木材利用技術の開発促進と木材利用の拡大～

- (1)新製品・新技術の開発促進
- (2)多分野への木材利用の拡大



▲涌井理事長から古田知事へ要望書を手渡しました



▲要望を行うコンソーシアム理事長ら（奥）と知事および林政部幹部職員（手前）

提案・要望内容の詳細についてはコンソーシアムHPにおいて公開しております。
URL (<https://www.forest.ac.jp/company/consortium/>) または二次元コードより確認いただけます。



▲コンソーシアムHP

【岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム事務局】（岐阜県立森林文化アカデミー 森林技術開発・支援センター 産学官連携係）

●詳しい内容を知りたい方は TEL 0575-35-2535 森林技術開発・支援センターまで

岐阜県みどりの少年団活動発表大会のご紹介

「令和3年度岐阜県みどりの少年団活動発表大会」は、令和4年1月22日（土）の開催を目指していましたが、新型コロナウイルスの影響が子どもたちにも及んだため、中止として、後日、発表の様子を収録した動画を審査する方式で開催することにしました。

参加を予定した少年団は、3団で、次のテーマで発表していただく予定でした。

- 城山小学校みどりの少年団：学校周囲の城山の森の観察（3年）とカキの栽培（5年）
- 北方小学校みどりの少年団：森林の働きの学び、植樹等通して地域の緑を守り育てる
- 中野方小学校みどりの少年団：棚田の米作り、森の健康診断、木の駅プロジェクト等

今回は、森林文化アカデミーを会場に、午前中に森の情報工房で活動発表を行った後、午後からモリノスで交流活動を計画しました。火おこし体験や森のジグソーパズルづくりを準備し、みどりの少年団の皆さんも楽しみにしていましたが、実施できなくて残念でした。

次回も森林文化アカデミーを利用し、モリノスの協力をいただいて、大会を開催しようと思っていますので、みどりの少年団の皆様の参加を期待しています。



城山小学校みどりの少年団



北方小学校みどりの少年団



中野方小学校みどりの少年団

【公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 専務理事 黒崎隆司】



長森西小学校みどりの少年団 付知南小学校みどりの少年団が 新たに結成されました!!



令和3年10月に「長森西小学校みどりの少年団」が、11月に「付知南小学校みどりの少年団」が新たに結成され、この度、団員の皆さんへ団旗をお渡ししました。

長森西小学校は、岐阜市の東部に位置し、学校には70本以上の桜の木があり、学校や地域のシンボルになっています。学校では、3年生78名を「桜守」として桜の植樹や樹勢回復などの手入れを行い、桜を守る活動に取り組んでいます。これからもみどりの少年団として、みんなで力を合わせて、桜を守り育てる活動を続けていってほしいと思います。

付知南小学校は、町の中心を付知川が流れ、周囲は森林に囲まれた、自然が豊かな学校です。学校では、5年生27名のみどりの少年団として、東濃森林管理署や付知町優良材生産研究会などの協力を得ながら、木の町付知の特色を生かした森林教室や間伐体験などを行う予定です。みどりの少年団の皆さんには、力を合わせて活動に取り組むとともに、新たな発見や驚きを見つけてほしいと思います。



長森西小学校みどりの少年団

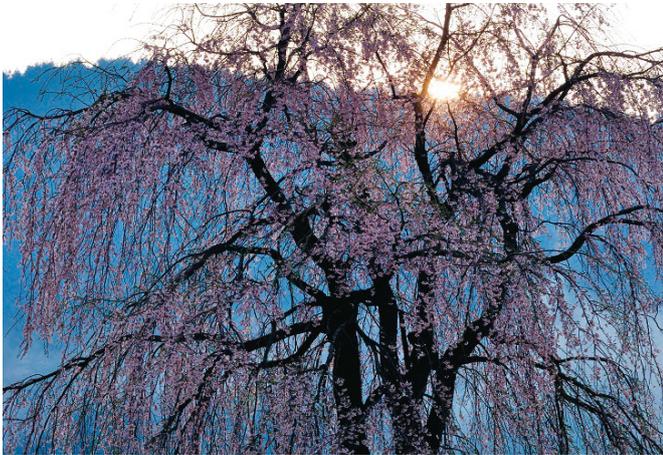


付知南小学校みどりの少年団

【公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 専務理事 黒崎隆司】

森と水を巡る旅

清流の国ぎふ



■一期一会の春に

「願わくは花の下にて春死なむその如月の望月の頃」(西行)

今年も春が巡ってきます。そして当たり前のことですが、今年の桜が咲きます。毎年訪れるあたりまえの風景として。

人生100年時代と言われます。それは、言い換えると、私たちはたった100回しか桜と出会うことができないということです。それを多いと感じるか、少ないと嘆くか…。

出かけてみませんか？ 今年ガイドブックやSNSの情報じゃなく、自分だけの桜との出会いを求めて。一期一会の春を探しに…。だって、100回のうち、もう〇〇回(自分の年齢を入れてください)は思い出になってしまったから。

※釈迦の入滅は旧暦の2月15日と伝えられており、西行のこの歌は、自分も同じ頃にとの思いを歌ったと言われます。その後西行は釈迦の入滅に1日遅れること、建久元年(1190)2月16日に亡くなります。藤原定家は西行の最期を聞き、「望月のころはたかわぬ空なれど消えけむ雲のゆくへ悲しも」と歌を残しています。

【森林のたより編集担当】



文：樹木医・日本森林インストラクター協会 理事 川尻 秀樹

春の山菜としても有名なフキノトウ。
葉のように見える淡緑色の苞(ほう)が花茎と花序を包み、その苞には白い綿毛が密生しています。成長して苞が開くと総苞片に包まれた頭花が現れ、小花が多く集まった散房状の花序が見られます。
1ヶ所にフキノトウが群生している場所では、そのすべてが地下茎でつながった雄株ばかりとか、

雌株ばかりということがしばしばあります。

フキは草本では珍しく、雌株と雄株に分かれる植物で、雌株の花は黄色と白色が混じって全体的に黄緑色に見え、雌株の花は白く見えるので遠くからでも雌雄判別が容易にできます。

さて、ここからの話が少しややこしくなります。

まず黄色い花の雄株の頭花を観察してみましよう。頭花の小花には5裂した花冠と花粉が入った葯、先が膨れたこん棒状の雌しべ(花柱)があります。つまり雄株の小花は雄しべと雌しべが備わった両性花です。しかし実際には、結実できないので機能的には雄花となります。

雌しべが小花の中心から伸びる時、小花の奥にある葯から花粉を受け取って伸長するため、柱頭の多くに花粉をつけています。これは雌しべが花粉をつけて頭花の表

面に出てくることで、昆虫類など花粉媒介者(ポリネーター)が花粉を運びやすくしているのです。また花粉の色は株によって、黄色や白色と変化があるようです。

次に、白色の花の雌株の頭花を観察すると、2種類の小花が確認できます。1つは貧弱な花冠と先端が2裂した細い糸状の雌しべを持った白い雌の小花で、こちらは無数に見られます。もう1つは雄花に似た形態の小花で、1頭花に数個しかありません。この小花は花粉もつくらず、胚珠も退化した中性花で、花粉も果実も実らないので不稔花とも呼ばれます。

雌株にある雌の小花と雄花に似た小花(中性花)は、各々が交配と花粉媒介者を誘き寄せる役割とを担っています。雌の小花は糸状で細いため多数密集させるのに有利ですが、花粉もつくらず、蜜も分泌しません。

もしも雌株の花がすべて雌の小

花になってしまうと、花粉媒介者である昆虫を呼び寄せることができませぬ。そこで花粉はつくれないけど蜜を分泌することができる雄花に似た小花(中性花)が役に立つのです。

受粉した雌の小花は初夏に、タヌキのような綿毛のある瘦果(そうこ)となつて、どこかへ飛んで行くのです。



▲左側が雌株、右側が雄株



山のおじまむし



一寸先は闇、ヤブキリー【第368回】

自然学総合研究所 野平 照雄 ● Teruo Nohira

孫たちが飼っているキリギリスは12月半ばを過ぎて、生きている。しかし、動きは鈍く時々小さな声で鳴くだけ。孫たちは「元気がないね」「大丈夫」と口にしていて、「これだけ長生きしたのだから幸せだったじゃない。でもクリスマスまでは生きてほしいな」と孫たちの母親。「そうなるとキリギリスを見ながらケーキが食べられるね」とIちゃん。Nちゃんは「キリギリスはケーキを食べないかな」とそれぞれの思いを口にしていて。12月24日、クリスマスの前日だ。キリギリスは生きている。手を出すと逃げる。これなら明日まで間違いなく生きている。昆虫歴60年の私の直感だ。孫たちには「明日はキリギリスを見ながらケーキが食べられるから」と言って、午後4時に原稿を提出した。この日が締め切り日だったからである。この続きは次号に書くつもりであった。しかし、本当に生きているだろうか。一寸先は闇。この言葉が目には浮かんで来た。ところがその夜、この言葉通りになった。キリギリスが死亡したのである。連絡を受けたのは23時40分。母親からだ。母親は「あと20分生きていればクリスマスだったのに」と無念そうであった。しかし、数時間前までは元気だったキリギリス。今は無残なこの姿。夢ではないかと思った。翌日、孫たちは「なぜ死んだの」「可愛そう」と悲しそうであった。母親は「これだけ長生きしたのだから幸せ。まだヤブキリーが生きているから、これからはこの世話をしなさいよ」と何回も口にしていた。

× × × ×

すでにお話したように、キリギリスとヤブキリーを採ったのは7月2日。これを孫たちと飼いはじめた。しかし、孫たちに人気があるのはキリギリス。大きさ、姿はほとんど変わらないのに、ヤブキリーにはあまり興味を示さないのだ。それはキリギリスが「ギースチョン、ギースチョン」と大きな声で鳴くからであろう。ヤブキリー、キリギリスは同じ仲間であるが、一緒にいると喧嘩をはじめ、どちらかが食い殺される。このため、1匹ずつ飼わなければならない。我が家では100円ショップの小さな虫かご。これに1匹ずつ入れた。これを孫たちが世話。餌や水を与え、糞を取り除く掃除などだ。この頃はコロナで外出自粛だったので、これら虫の行動をじっくり観察し、その様子を私に話してくれた。このことは私自身の勉強にもなった。秋になり野外ではキリギリス、ヤブキリーも鳴かなくなった。しかし我が家の2匹は元気よく鳴いている。12月になると冒頭で記したように、あまり動かず、鳴く回数も少なくなった。そして、クリスマスの前日にキリギリスが天寿を全うしたのである。しかし、ヤブキリーは鳴いている。

これなら年が越せる。ぜひ越してほしいと家族全員が願った。そして令和4年を迎えた。ヤブキリーは元気だ。しかも鳴いている。この音色を聞きながら皆で雑煮を食べた。格別の味だった。

× × × ×

ヤブキリーはいつまで生きるのだろうか。今度はこれが気になってきた。私も毎日観察した。この頃の餌はリンゴと煮干しのみ。餌を与えるのは母親。孫たちはキリギリスが死亡してから餌をやるのを嫌がるのである。ショックだったのだろう。ヤブキリーは餌を与えても表面を少し齧るだけであったが、毎日鳴いていた。この頃から日本全国が寒波に覆われ、各務原市でも雪が降るなど寒さが厳しくなってきた。ヤブキリーはほとんど動かなくなった。1月8日、久しぶりにヤブキリーが小さな声で鳴きだした。悲しいことに、これがヤブキリーの鳴き声の聞き納めであった。前足を餌に掛け最後の力を振り絞っている姿。「これからキリギリスに会いに行きます」と言っているようであった。その後ヤブキリーはわずかに動くだけであった。1月15日、午後1時30分、あの世へと旅立って行った。我が家の家族となって198日目であった。



▲正月を迎えたヤブキリー

× × × ×

ヤブキリーの世話をしたのはほとんど母親。その母親が実妹に「ヤブキリーが死んでいたらどうしようと、寝れないことがあるの」と話していたという。この話を聞いて私は考えてしまった。私は今までいろいろな虫を飼育してきた。ほとんどが成虫にして標本箱に並べるだけだ。当然飼っている途中にたくさん死亡した。しかし、すぐにポイ捨て。昆虫マニアなら当然だと思っていたからである。それにしても母親、本当に家族の一員として育てていたのだと思った。孫たちにもこのことを伝え、そして一言「本当に素晴らしいお母さんだね。それともう一つ考えてしまうことがある。それはIちゃんに「昆虫は広い野外で動き回り、美味しいものを見つけて食べるのが幸せなのだよ」と話したことがある。すると「だったらキリギリスは可哀そうだね。小さな虫かごの中で、与えられたものを食べているだけだから」とIちゃん。返答に困った。「そのかわり長生きできるよ」この言葉しか出てこなかった。Iちゃんが中学生になったら自然界の仕組みをわかりやすく話してやるつもりだ。





ぎふ木遊館通信



<「移動型ぎふ木遊館」があなたのまちへ>

県では、多くの皆さんが身近に「ぎふ木育」を体験することのできる拠点として、岐阜県内各地の児童館、図書館、子育て支援センター等の地域に開放された施設に、ぎふの木のおもちゃと家具等を常設で備えた「ぎふ木育ひろば」を101箇所(令和2年度末時点)認定しています。

ぎふ木遊館では、「ぎふ木育」を県内各地に拡げていくための1つの取組みとして、各地の「ぎふ木育ひろば」と連携し、今年度から「移動型ぎふ木遊館」を実施しています。今年度は11箇所を訪問する予定です。

「移動型ぎふ木遊館」では、ぎふ木遊館で人気の木のおもちゃ、特注で作った木のおもちゃなどを車に詰め込んで、ぎふ木遊館のスタッフが伺います。また、施設によっては、木育プログラムを体験していただくことができます。事前に施設の職員と打ち合わせで、どんな場を作るのか、どんな体験をしてもらうのかを一緒に考えて準備します。



持っていくセットの一例

<p>【野外】</p> <p>① ままごとあそび (材料費：なし) 木のままごと曲を紙やすりで磨いた後、野外で集めた自然素材を使ってままごと遊びをします。自由な発想で自然物を捉えるとともに、食事の作法を知ります。</p>	<p>【屋内】</p> <p>② 木のおもちゃづくり (材料費：880~1,100円) ぎふの身近な山の木を紙やすりで磨き、木のおもちゃを作ります。木の匂い・手触りを感じ、作ったあとは、みんなで遊んで楽しみます。 チョコロチュウ 880円 プルバックカー 1,100円</p>
<p>【屋内】</p> <p>③ 木の楽器づくり (材料費：550~990円) ぎふの身近な山の木を紙やすりで磨き、楽器を手作り木に親しみます。作ったあとは、みんなで演奏して楽しみます。</p>	

提供する木育プログラムの一例

子どもたちや保護者の反応を紹介します。

いつも遊んでいるお部屋にあれ?見たこともないおもちゃが!!抱っこから降りると一目散におもちゃへと駆け寄っていく子ども達を見てお母さん達もにっこり。そのお母さん達もめずらしい木のおもちゃに触れながら会話が弾んでいました。

ヒノキのマラカスづくりに参加したご家族は、木目を意識しながら紙やすりをかけます。少し磨いただけでガサガサしていた角がスベスベになると、お子さんの手を当てて「すべすべになったね。」と微笑む姿がありました。磨くのがちょっと難しい小さなお子さんはマラカスの中味入れの担当です。小さな手でお豆やお米を大事そうに入れたら、自分だけのマラカスの完成です。入れるものによって異なるマラカスの音をお隣の人と比べたりして、楽しい時間を過ごしました。



こうした機会が、「ぎふ木育ひろば」の施設運営者にとって、普段ある遊具や木のおもちゃを使ってどのような体験の場をつくれるのか考えるヒントにもなり、ひいては県内各地で「いつでも」「だれでも」ぎふ木育を体験する機会の拡大につながっていくことを期待しています。



やがてみんなの森になる

morinos

プログラム紹介！！

岐阜県立森林文化アカデミー内にある森林総合教育センター（愛称morinos）で実施しているプログラムについてご紹介します！

今回は、12月に開催した「新しい林業を考える」をテーマに、ゲストと一緒に森を歩いたり、トークしたりするプログラムです。

ゲストは、長野県松本市の株式会社柳沢林業（以下、柳沢林業）の代表取締役を務める原薫さんです。柳沢林業は「信州・松本平の豊かな風景をつくる」をモットーに、従来の林業の枠に囚われない、様々な取り組みをされており、2021年度グッドデザイン賞（分類：地域の取り組み・活動）も受賞されています。

参加者は県内外から集まった20～50代までの10名。直接林業に携わっている人もいれば、自営業者、学生、公務員等と、まさに里山のような多様なメンバーでした。まずは、全員で自己紹介。どこから来たか、何をしているか、今日はどんなことを期待しているのか、など質問してみると、共通しているのは、森の新たな活用法を模索して「もがいている」ということ。悩みを共有することで、徐々に打ち解けた雰囲気になりました。



原さん



原さんと森歩き

原さんからは、柳沢林業の取り組みや自身の経歴を簡単に紹介いただきました。

環境問題に興味があり、農学部に進学した原さん。ただ、環境問題は大きすぎ、何をどうすればいいのか分からなかった中で1冊の本「木を読むー最後の江戸木挽き職人」（林以一著）を読み、日本の木の文化、人と自然の関係性＝人も自然の一部、ということを知って衝撃を受けたそうです。

卒業後、静岡市井川地区（大井川の源流部）の森林組合に就職した原さん。井川で暮らす中で気づいたのは「山って豊かなんだな」ということ。その後、縁あって柳沢林業に就職します。現在社長を務めている原さん自身、林業をしているというよりは「山と人を活かす仕事をしている」と思っているとのこと。

自己紹介の後、アカデミーの演習林へのんびり森歩き、途中、森のようちえんの子どもたちとすれ違い、「こうした空間利用もありですね」と話しながら先へ進みます。

演習林内の自力建設建物「四寸傘」や山の神で立ち止まり、原さんは語ります。

「今は植え過ぎてしまって森林整備のために木を伐りますが、本来であれば、使うことが目的でどの木を伐ろうか、というのが正しいのでは。かつて日本では伐り過ぎてはげ山になった時代もあるし、今は逆に伐らなさ過ぎて荒れてしまっている。これからはどのように森林を活かすのかが、人間に試されているのでは。」

「森林は遷移を経て極相林（平衡状態）に向かいます。人間にとっての災害も、自然にとっては極相に向かうプロセスの一部に過ぎないのです。最初からこうなったら良いというベストを目指すのではなく、『中今（なかいま）』という言葉があるのですが、今に集中すること。今が幸せなら未来も幸せになると思います。」笑顔で語る原さんの話を聴いているうちに、参加者の表情もほころびます。

森を歩き、谷間を流れる冷たい風を感じたり、林床に赤く実ったフイチゴに舌鼓を打ちながら、参加者同士、リラックスした雰囲気でおしゃべりを楽しみながら戻ります。

林業現場で日々試行錯誤をしながらも、社員と共に「新・林業」の創出に取り組む原さん。プロセスを大事にし、変化にしなやかに対応する姿は、森の木々のように感じられました。

参加者からは、「原さんのお言葉で「山があれば豊かである、生きていくことができる」というのが心に残りました。（40代）」、「山に関わる人や林業従事者が増えれば山（森）も世の中も良くなると確信しました。不安とか色々あっても頑張って乗り越えることが大事だとも。自分もミニマムに同じようなことを考え、やろうとしているので頑張ります。（20代）」、「これからの里山整備の運営の仕方についてヒントを頂けて、次の1歩を踏み出せるきっかけになりそうです。気づけたことが沢山あり、とても有難い機会でした。（40代）」などの意見がありました。

こうしたプログラムは、morinosのHPで開催をお知らせしています。新型コロナウイルス感染防止対策の状況により実施しない場合もあります。

興味を持ってくださった方は、morinosのホームページ、YouTube動画をご覧ください。

ホームページ <https://morinos.net>

開所時間 10:00～16:00

YouTube 検索「morinosチャンネル」

定休日 毎週火・水曜日



morinosHP



YouTube
「morinosチャンネル」

『森林・環境税』で“緑豊かな清流の国ぎふづくり”

県では、「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用し、県民みんなで豊かな自然環境を守る様々な取り組みを行っています。こうした取り組みの内容について連載で紹介します。

生きものにぎわうため池再生事業

ため池に生息する外来種を駆除することにより、里地の生態系の保全を図るモデル的な取り組みを推進する事業です。

【事業内容】

ため池下流への外来種の流下防止対策をしたうえで落水し、生息する生きものの捕獲・同定等の調査、捕獲した外来種の保護、外来種の駆除、外来種放流防止対策の看板設置を行います。

【事業実績】

平成24年度の事業創設時からの10年間に、計43か所のため池で事業を実施しました。

事業実績	平成24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	第1期計	合計
	5か所	5か所	5か所	6か所	5か所	26か所	
	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	第2期計	
4か所	4か所	3か所	3か所	3か所	17か所	43か所	

10年間でオオクチバスやブルーギル、ウシガエルなどの外来種17万匹以上を駆除するとともに、外来種による脅威を受けていた魚類や水生昆虫など多種多様な在来種34万匹以上を保護しました。

また、ため池管理者や地域住民、県・市町村職員など延べ1,466人が参加しました。

【令和3年度の実施状況】



捕獲活動



同定作業



外来種の運搬・放流防止対策の看板設置
(令和2年度の設置例)



捕獲した外来種(オオクチバス)



カワヨシノボリ



ドジョウ

保護した在来種



トンボ(ヤゴ)



スジエビ

地域の方にも捕獲活動に参加いただき、多種多様な生きものが生息していることを知ってもらうことで、生態系への関心ももち、ため池とともに地域の魅力ある自然環境を保全してもらう意識を啓発することができました。

シリーズ

「住民主体の創意工夫ある

森づくり・川づくり活動」

県では清流の国ぎふ地域活動支援事業(清流の国ぎふ森林・環境税活用事業)により、各種団体等が自ら企画・立案・実行する創意工夫ある森づくりや川づくり活動を支援しています。こうした団体の活動内容について、連載でご紹介します。

(特非) 岐阜環境カウンセラー協議会

●設立年

・平成18年

●設立目的

・環境省の環境カウンセラー制度の趣旨にのっとり、市民・市民団体、事業者、行政等の社会を構成する各主体とパートナーシップを形成しながら環境保全活動の推進に資することを目的としています。

●主な活動分野・活動内容

・環境の保全を図る活動
・社会教育の推進を図る活動
・前記に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動

●令和3年度地域活動支援事業名

・里・山・川の保全・活用を通じた地域おこし調査研究事業

●事業内容

・七月 「近年の環境問題」学習講座
・九月 荒廃山林、農地、市街地などの見学
・十一月 自然生態系学習講座
・一月 意見交換会
・二月 「エコプラットホーム東濃(仮称)」設立総会

●事業目標や事業効果

・エコプラットホーム東濃(仮称)設立に向けた準備として学習講座、見学会、意見交換会などの実施を今年度目標としました。

・森・川など自然の恩恵を受けている事実、その保全・活用を通じて地域経済のあるべき姿を理解し、地産地消の「地域循環経済」の確立を目指します。

●その他

・コロナ対策などで、予定の半分程度の実施となりましたが、見学会、意見交換会などで、一定の理解が進み、次年度、引き続き、プラットホーム設立に向け活動します。
・環境と地域経済の両立を目指しています。一人でも多くの皆さまの参加が不可欠です。まずは、この事業へのご参加を。



意見交換会(地域おこし事例)



荒廃山林、農地、市街地などの見学

問い合わせ先

(特非) 岐阜環境カウンセラー協議会
TEL: 0572-88-8003

ひるかわ里山活性化委員会

●設立年

・平成22年

●設立目的

・委員及び地域住民による協働活動を通じ、蛭川地域に存在する里山等の資源や森林及び農村環境の保全と地域の活性化を図ることを目的としています。

●主な活動分野・活動内容

・蛭川地区の里山整備と環境保全
・キノコの植菌等による、整備に伴って発生した木材の再利用
・森と水の関係や、里山整備の目的及び木材の利用方法など、中学生を対象とした森林環境教育の実施

●令和3年度地域活動支援事業名

・里山活性化事業

●事業内容

・キノコ山・里山林の整備
・天然記念物「長瀨のヒトツバタゴ」の保全管理
・地元中学生に対して行う「森と水」「野生動物」をテーマにした環境教育

●事業目標や事業効果

・里山林整備3.5ha(参加者150名)
・中学生に対する環境教育(30名)
・地域住民とともに地域の里山林を整備することにより、自然環境の保全と生活環境の改善を図ります。

●その他

・当団体は、これらの活動のほかに、里山整備の担い手育成や日本赤十字社や福祉協議会など他組織との環境整備などを協働で実施しています。

問い合わせ先

ひるかわ里山活性化委員会
TEL: 0573-45-2129
FAX: 0573-45-3199



山村に暮らす人々の証言を聞く

岐阜県立森林文化アカデミー 教授 ● 嵯峨 創平

聞き書きという手法があります。話
し手の言葉を録音し、一字一句すべて
を書き起こして、文章にまとめるとい
うシンプルな手法ですが、民俗学や文
化人類学では主要な研究方法として世
界中で多様な記録が生み出されてきま
した。最近では日本の高校生達が森・川・
海の名人達人から生活史や伝統的な生
業の話を書いて作品にまとめる「聞き
書き甲子園」というプロジェクトが行
政や企業の支援を受けて展開されてい
ます。この手法がビジネスシーンやま
ちづくりでも活用されるなど「聞き書
き」が今静かなブームを呼んでいます。
なぜでしょう？

筆者はここ10年ほど岐阜県内の山
村に暮らす人々を訪ねて、生業の歴史
や生活の変化についてお話を聞いてき
ました。森林文化アカデミーの学生達
と一緒に聞き書きに取り組むこともあ
れば、個人研究として興味あるテーマ
を追いかける活動もあります。その中
でいくつか興味深い例を紹介しまし
ょう。

奥美濃地方の明宝歴史民俗資料館
には国の有形民俗文化財指定を受けた
「山村生産用具」や「人生儀礼用具」の民
具資料が多数ありますが、特筆すべき
はそれらを実際に使った体験をもつ語
り手の方が存在することです。実物の
民具を見ることで記憶が蘇りやすくな
ります。ヨキなど山仕事の道具の使い
方を実際に見せてもらいながら話を聞
いたり、山へ持っていくワッパ飯や山
中で材料を調達してお菜やお茶を賄う
やり方、寝泊りする仮小屋づくりの材
料や建て方のお話を聞いた時にはとて
もわくわくしました。

南飛騨地方の下呂市馬瀬地域は馬瀬
川の清流が有名ですが、戦後にアユ釣
りが流行する以前から、アジメドジョ
ウなどの小魚をエという仕掛けで獲れ
漁が盛んでした。その設置方法や獲れ
た魚を実際に見せていただいた時も、
自然の恵みの豊かさや食料を獲得する
技術の巧みさに感心させられました。
西濃の揖斐川町春日地域は谷あい
の急峻な地形の中に集落が点在してい



馬瀬川の小魚獲り

て、水田は僅かしかありません。そん
な環境の下で人々は茶畑や野菜畑を拓
き、貴重な農地を無駄なく使うために、
お茶とコンニャク芋を同じ畑に植え、
畑の畔にも薬草や豆を植えていたそう
です。伊吹山麓にある薬草利用が盛ん
な集落では、薬草の採取時期や乾燥方
法、そして様々な病気に応じて薬草を
用いる民間療法の知恵について詳しい
お話を聞くことができました。



伊吹山の薬草栽培

聞き書きを通じて知るこうした山村
文化のディテールやストーリーは大変
興味ぶかく、私は往時の風景や人々の
喜びや苦勞を想像してみたりします。
現代の高校生や都会から移住した若
者達が聞き書きに魅力を感じる感性は
どこから来るのか？ 私なりに解釈する
と、次の3点があるように思います。
①「山村という小さな世界の出来事に
大きな世界の変化が反映している」こ
とを感じ取っている、②「人と自然が
密接に繋がっていた時代の記憶が、未
来の持続可能な社会をつくるヒント」
として読み替えられる、③「人の言葉
を注意深く聞き作品化する為に繰り返し
読む時間が、聞き手の新たな創造力
を生み出す」効果がある。過去の記憶
は無用の長物なんかではなく、知恵の
泉なのかもしれない。それは聞き手の
受容力と想像力にかかっていると思
います。

美濃加茂市加茂野町加茂野字南野816番4



施設全景

○ 施設概要

事業年度	令和2年度
事業主体	特定非営利活動法人 ライフテラス
構造 延床面積	木造 1階建 767㎡
施設用途	短期入所生活介護施設
木材使用量 使用樹種	108.0621㎡ (内、県産材使用量105.5489㎡) スギ、ヒノキ
全体事業費	171,545千円
助成額	13,039千円
設計者	有限会社ワークショップ
施工業者	ミューズ建設株式会社
工期	令和2年8月25日～令和3年3月2日



南廊下

施設の経緯

「ショートステイきずな」は2021年4月に開設した、短期入所生活介護施設です。施設には県産のスギやヒノキをふんだんに使用しており、広々とした空間の中で木の温もりを感じながら過ごしていただくことが出来ます。利用者様の尊厳ある生活を守り、居心地が良く安心して過ごしていただける施設となりました。



機能回復訓練室



ここに注目!!

床材や腰板等、内装材にも木材を使用しており、広々としたフロアの中で木の香りと温もりを楽しんでいただける施設となっています。

利用者の様子

「静かで落ち着ける雰囲気がいい」「木の温かさや香りが気持ちいい」とのお言葉を頂いており、リラックスしていただける空間が好評です。

■問い合わせ先
ショートステイきずな
TEL 0574-27-7771



会員一同

木育と自然を子育てに活かす

NPO法人 飛騨高山わらべうたの会

理事長 ^{いわつかくこ} 岩塚 久案子さん

高山市及び周辺地域の子育て支援を目的に「飛騨高山わらべうたの会」が木育活動を行っていることから、理事長の岩塚さんに話を伺いました。

設立の経緯

平成19年に声楽家の先生の童謡コンサートを開催するために子育て中のお母さんや主婦の方々10名で市民活動団体「わらべうたの会」を立ち上げました。その後、高山市生涯学習課から「ひだのわらべうたの講習会をしてもらえませんか」と依頼があり、地元の方々から遊び方、歌い方を教わり、50曲ほどをまとめました。

子ども達に木のおもちゃ（飛騨の玩具等）で遊ばせながら「ひだのわらべうた」の講習会を行うようになりました。この活動が木育へと繋がっていきました。

平成27年に高山市子育て支援課から高山市つどいの広場（子どもの広場）を運営して欲しいと依頼があり、任意の団体からNPO法人として、平成27年5月27日に設立されました。現在の会員は22名です。

現在の活動内容

現在は主に、「飛騨・高山森のエコハウス」・「チャイルドランド」の運営と「木育ワークショップ」の2本柱で活動しています。

〈飛騨・高山森のエコハウス及びチャイルドランド〉

飛騨・高山森のエコハウスは、ひだ高山木の家ねつとの会員として、平成30年から施設を管理しながら主に0〜3歳の子どもを対象に木に触れ、木の温もりを感じてもらえたらと、「国分寺のおおいちよう」のおもちゃや積み木、つみぼぼ（さるぼぼがモチーフ）などを置いて、「木のおもちゃ広場」として開放しています。この森のエコハウスは、令和2年に「ぎふ木育ひろば」

令和3年に「ぎふ木育ひろば地域支援拠点」に認定されました。



飛騨・高山森のエコハウス 木のおもちゃ広場

チャイルドランド（高山市つどいの広場）は、商業施設の子育て支援ひろばとして運営しており、ぎふの木のおもちゃを中心に色々なおもちゃが常備してあります。特に家具製造会社で作った杉ハウス&キッチンが子ども達の人気となっています。このチャイルドランドは、平成29年に「ぎふ木育ひろば」として認定されました。

〈木育ワークショップ〉

親子が木に親しみ、木に触れて楽しむ場を提供するために木育ワークショップを年6〜7回開催しています。ワークショップの内容は、木育デイクャンプ、カットイングボードを作ろう、チョロチュウを作ろう、おしりカスターネットを作ろう、子どもの手形時計を作ろうなどです。

なお、高山市は広範囲のため、ワークショップの一部は、オンラインで開催し、事前に材料を郵送し、当日「作り方の手順」をライブ配信しています。このオンラインは、コロナ禍においても問題なく開催できる方法となりました。

また、木育デイクャンプはコロナ禍で開催ができないため、来年度はコロナが収束したところで開催したいところです。内容は、森で木の伐採見学、丸太・枝切りの体験や製材所で伐採した木の製材見学な

どです。



木育ワークショップ ボルダリングボード製作

今後について

新しくチャレンジしていきたいことは、高山市内の木材関係・家具製造会社と連携して、飛騨の木を活用した玩具・おもちゃの製品開発です。

将来は、木育をベースにした保育園ができれば良いと考えており、木育を通して、森林の働き、森林の大切さを知り、飛騨の森を好きになって欲しいと願っています。

お話を伺って

子ども達に小さい頃から森や木に親しんでもらい、温もりあふれる木のおもちゃで遊ぶ事を通して、子ども達の五感を豊かに刺激し、森や自然に関心を持ってもらうことを考え活動してみえます。

高山市外から嫁いでみえた女性ばかりなので、高山市の魅力を感じ、子育てママならではの木育活動に繋がっていると思います。

【飛騨農林事務所 吉田 晃】

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 0577-133-1111 内線(491)

飛騨農林事務所まで

シイタケの品質保持に向けた取り組み

岐阜県森林研究所 ● 上辻久敏

はじめに

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、外出の自粛に伴う外食機会の減少から、販売量が減少して収益の低下したキノコ生産者が県内でみられました。岐阜県のキノコ生産額の75%を占めるシイタケは、栽培開始から収穫まで半年以上を要します。

培養開始時に新型コロナウイルスの感染拡大を予想することは難しいため、半年後に菌床から発生したシイタケの多くは廃棄するしかありませんでした。シイタケの品質保持期間を延長する技術は、こうした廃棄商品を減少させ、収益の改善につながることに期待できます。

密封処理したシイタケの変色抑制

当所ではラップフィルムで包装した商品を更に袋で密封して、通気を抑制（密封処理）することで、変色を抑制できる技術を開発し、県内に技術移転を進めております。これにより、シイタケの日持ちが3日間延

びた生産会社や、シイタケ出荷用のラップフィルムを通気性の低い材質にすべて切り替えた生産会社が出てきました。しかし、この密封処理によつて、変色が抑制されても異臭が発生するという新たな課題が見つかりました。

異臭の発生原因

シイタケは、通常、酸素を消費し二酸化炭素を放出する好気呼吸を行っています。このため、密封処理で好気呼吸を継続すると、密封内部の酸素が徐々に減り、二酸化炭素濃度が増加します。

酸素濃度が低下すると、シイタケの呼吸は酸素を使用しない嫌気呼吸に切り替わります。この嫌気呼吸では通常発生しない物質が生産されるようになり、その中に異臭の原因物質が含まれていると考えられます。

密封処理を改善する研究開発

そこで次の2つのシイタケ品質保持の研究に取り組んでいます。

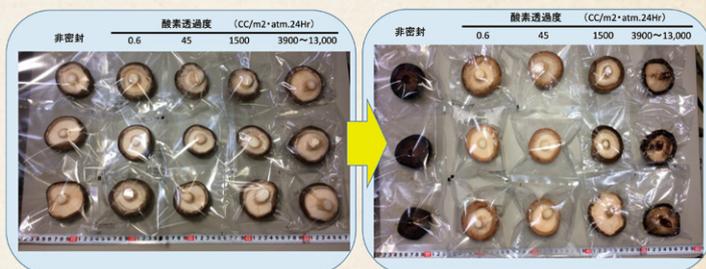


図1 性質の異なるフィルムによる密封保存の影響

① 異臭の発生抑制

シイタケの呼吸速度をもとに好気から嫌気呼吸に切り替わる酸素濃度の値（絶対酸素濃度）が岐阜大学との共同研究で明らかになりました。

今後は、この条件を満たすフィルムパックで変色が抑制できるか検討していく予定です（図1）。

② 異臭の原因物質の解明

密封処理時に発生した揮発性成分を1種類ごとに分離して、それぞれの分子構造の情報から物質を予測することができるといいます。これにより、ガスクロマトグラフ質量分析装置（図2）を用いて異臭を特定する研



図2 ガスクロマトグラフ質量分析装置（におい嗅ぎ装置付き）を用いた分析

最後に

究を行っています。

異臭の原因物質を特定し、その物質の発生を抑制するシイタケ保存に適した条件を明らかにすることで、変色を抑制し、異臭も蓄積させないシイタケ保存に最適と考えられる技術を開発し、キノコ生産者の収益向上に貢献していきたいと考えております。

● 詳しい内容を知りたい方は

TEL 0575-1331-2585

森林研究所まで



下呂地域における林業普及活動

■下呂農林事務所

林業普及指導員 渡辺 公夫
林業普及指導員 二階 勇二



下呂農林事務所管内は、岐阜県の中東部に位置する下呂市のエリアで、森林面積約78千ヘクタールのうち約7割に当たる約55千ヘクタールを民有林が占めています。人工林率は県平均を大きく上回る62%で、その約7割をヒノキが占めています。

令和元年度に森林経営管理法が施行されるとともに森林環境譲与税の譲与が開始されました。譲与税を有効に活用し、森林経営管理制度による森林整備を着実にすすめることが下呂市の重要な課題となっています。

今回は、下呂市がすすめる森林経営管理法に基づく森林整備の推進の実施状況と、林業普及活動の取り組みをあわせて紹介します。

森林経営管理制度の取り組み状況

昨年度までの取り組み

下呂市には、過去十年以上間伐等の施業履歴がない人工林が約14千ヘクタールあり、森林経営管理制度を活用しながら森林整備を推進し、これを解消することを目標としました。

また、森林整備を進めるためには、下呂市、林業事業体、森林所有者の連携が不可欠であるとして、新たな連携組織「下呂市もりづくりセンター（仮称）」の設立に向けた検討が始まりました。

森林経営管理法に基づく意向調査については、令和2年度に初めての取り組みとして、地籍調査完了地区である馬瀬惣島地区1111ヘクタールを対象地に選定しました。

意向調査業務は、南ひだ森林組合への業務委託により実施し、意向調査、森林の現地（プロット）調査、経営管理権集積計画（案）の作成までを一括して実施する内容となっています。

今年度の取り組み

取り組み2年目となる今年度からは、年間千ヘクタール程度の意向調査を実施することとし、現在、3地区557ヘクタールで調査を実施中です。この3地区も地籍調査完了地区ですが、今後は地籍調査未了地も対象としていく予定です。

また、令和2年度に意向調査を実施した馬瀬惣島地区においては、27ヘクタールの経営管理権集積計画を作成し、市町村森林経営管理事業として保育間伐を実施しています。

下呂市森林づくり基本計画（仮称）の策定作業

令和2年度の下呂市森林管理委員会において、下呂市の森林づくりの基本方針を策定すべきとの提案を受

け、今年度、下呂市森林づくり基本計画（仮称）の策定作業を進めています。

策定作業は、下呂市と下呂農林事務所による「計画策定チーム」でたたき台を作成し、下呂市森林管理委員会の意見を聞きながら作り上げていく形としました。



▲課題の洗い出し作業

まず、策定チームで課題の洗い出し作業を行い、抽出した22項目について「現状分析」と「課題」を作成しました。

作成した「現状分析」と「課題」は、下呂市森林管理委員会の「森林整備部会」、「木材利用部会」、「森林活用部会」において、3部会で延べ6回にわたって熱心な議論がなされました。

また、11月下旬には市内の林業事業者の方々から下呂市の森林の将来像について自由に話し合う意見交換会（がやがや会議）を開催しました。



▲林業事業者の意見交換会

今後は、これまでの議論を踏まえて具体的な施策などの検討を行い、令和4年度の中頃までには下呂市森林づくり基本計画(仮称)を完成させる予定です。

事前防災モデル地区整備プロジェクト

本年度、林政部の重点的に取り組む施策として、市町村等と連携した治山施設と森林整備を組み合わせた事前防災モデル地区が県下5地区の



うち、下呂管内では、豪雨災害で被災した萩原町羽根出水洞、小坂町長瀬白土洞の2地区計画しました。

林業と国土保全を両立させるために必要な山地災害リスクを考慮した森林整備に関する知識と考え方を身に付けるために市、林業事業者、農林事務所の治山、森林整備担当者を対象に研修会を開催しました。

講師は、岐阜県森林研究所職員にお願いしました。

研修では、山地災害リスクを考慮した森林整備【計画編】、道づくり編【伐採編】について講義をいただきました。

受講者には、山地災害リスクの評価に必要な知識、山地災害リスクを考慮した森林整備、下呂管内における地形や地質について理解を深めていただくことができました。

終わりに

「下呂市もりづくりセンター(仮称)」構想については、森林組合、市、農林事務所が中心となって、早期の設立にむけて検討をすすめているところです。設立後の詳しい活動内容等については、今後お伝えしていきます。

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 0576-52-3111

下呂農林事務所まで

スマート林業通信 21

林業用無人化技術の現地見学会を開催

令和2年度に県で独自に開発した林業用無人化技術について、昨年度末は新型コロナウイルス感染症の影響で報道関係者へのみの公開としたため、11月と12月に実証試験を兼ねた現地見学会を開催しました。

11月24日～25日は白川町和泉地内の森林で、高所無人掘削機を活用した地拵え・造林作業の現地見学会を開催し、森林技術開発普及コンソーシアムの会員等21人が参加しました。

森林内で機械を稼働させるには根株処理等の作業が増えますが、それでも機械化による作業効率は人力作業の約2倍。何より省力化を図ることができ、労働災害の発生防止、林業の3Kイメージを払拭できます。

また、森林内に機械が乗り入れると土壌条件が悪化して苗木が育たないという意見があります。白川町の現場はヒノキのコンテナ苗100本を植栽して枯れたのは1本だけ。全体に苗木の生長は旺盛で、必ず枯れるものではないことを実証しました。

12月8日～9日には岐阜市山県岩地内の森林で、リモコン草刈機の現地見学会を開催し、42人が参加しま

した。

当初は9月に下刈りを含めた試験を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で12月に延期となり、傾斜地における走行能力試験として開催しました。

リモコン草刈機の走行能力は高く、下刈りの機械化は実現できると感じました。ただ、枝条や根株は走行の支障になるので、機械化を前提とした集材、地拵え、植栽を行う必要があります。今後は試験地を増やし、研修等の開催を通して造林・育林作業の機械化を普及したいと考えています。



▲リモコン草刈機の走行能力試験

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 0575-36-2535

森林文化アカデミー

スマート林業推進係まで



国有林で山登り2

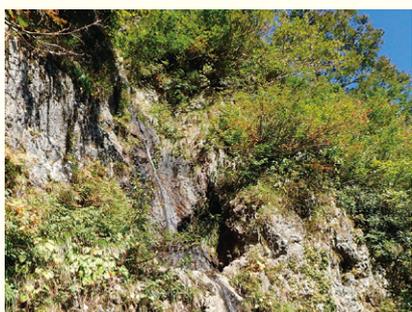
先月号で岐阜森林管理署管内の国有林の山を紹介しましたが、西濃地方にも魅力のある人気の山があります。

①揖斐川町からの夜叉ヶ池

夜叉ヶ池は三国岳と三周ヶ岳山頂付近、標高約1100mの岐阜県揖斐郡揖斐川町(旧坂内村)と福井県南条郡越前町(旧今庄町)との境界付近で、福井森林管理署管内の岩谷国有林内に位置する池です。周囲をブナの原生林に囲まれ、満々と水をたたえ、別名「雨乞いの池」とも呼ばれており、その昔、ある村に干ばつが起こり、雨乞いのために村の娘・夜叉姫が池の龍神に嫁ぐことになり、池に身を投じ、村を救ったという伝説があります。地元の集落の坂内川上の麓には、その夜叉姫を祀った夜叉龍神社があります。夜叉ヶ池にはモリアオガエル、クロサンショウウオ、アカハライモリなどが生息しています。特に夜叉ヶ池にしかないヤシヤゲンゴロウが生息しており、そのヤシヤゲンゴロウとその生息環境を守るため、夜叉ヶ池を含む周囲の森林16ヘクター

ルは、林野庁が「夜叉ヶ池水生昆虫生息地保護林」に指定し、適切な保全に努めています。

夜叉ヶ池へ向かうルートは福井県側からも岩谷林道終点から登山道が整備されていますが、岐阜県側からは、町道川上ヶ池ノ又線の終点の駐車場から、岐阜森林管理署管内の川上国有林内に整備されている約3kmある登山道を歩いていきます。途中の「幽玄の滝」「昇龍の滝」「夜叉壁」を眺めながら、一部ロープが設置されている急な岩場の斜面があります。登りきると夜叉ヶ池が見えてきます。



▲幽玄の滝



▲三周ヶ岳と夜叉ヶ池

②本巣市の能郷白山

岐阜森林管理署管内の大河原国有林内にある能郷白山は、岐阜県本巣市(旧根尾村)、揖斐郡揖斐川町と福井県大野市との境界上に位置し、日本二百名山にも選定されている山です。標高1617mと越美山地の最高峰で、美濃地方では一番遅くまで雪を抱いた山といわれ、濃尾平野から春遅くまで雪を残している姿を望見することができます。加賀白山を開いた泰澄上人が、加賀白山の山頂から見渡したとき、この山(能郷白山)が目にとまり、白山権現の分祀を思いつき、開山し祠を祀ったと伝えられています。平成三〇年には能郷白山開山一三〇〇年を迎えたことにあわせ、本巣市をはじめ多くの記念行事等が行われました。

能郷白山へ向かうルートは国道一五七号線の岐阜県と福井県境の温見峠から登る最短のルートと根尾川支流の能郷谷から登る健脚向きのルートの二つのルートがあります。一般的な温



▲能郷白山

見峠ルートは全長約2.4kmの整備された登山道です。前半は一部ロープやハシゴが設置されており急登が続きますが、このあたりはブナ林で、秋には美しい紅葉が楽しめます。標高1492m地点からは緩やかな尾根を進みます。途中には雪の重さのため、上に成長できずに龍がはうように横に伸びた「臥龍ダケカンバ」を跨いだりくぐったりして通過します。頂上付近は笹原で天気が良いければ展望が楽しめます。



▲温見峠ルート

(岐阜森林管理署)

令和3年度 岐阜県緑化運動ポスターコンクール

入賞作品が決定しました!

県では、緑化の意義などを普及啓発するため、昭和58年度から県内の小・中学校、高等学校、特別支援学校の児童、生徒を対象に「岐阜県緑化運動ポスターコンクール（後援：岐阜県教育委員会、（公社）岐阜県緑化推進委員会）」を実施しています。

令和3年度は、県内124校から637点の応募があり、審査の結果、入賞作品52点が決まりました。

また、「岐阜県緑化運動ポスターコンクール」最優秀及び優秀作品について、令和4年用国土緑化運動・育樹活動ポスター原画コンクール（主催：（公社）国土緑化推進機構）へ推薦したところ、以下の2点が入賞しました。

なお、「岐阜県緑化運動ポスターコンクール」入賞作品は、令和4年3月26日（土）午前10時から令和4年4月17日（日）午後5時まで ぎふ木遊館にて展示します。（3月28日（月）～3月30日（水）はメンテナンス休館）

令和4年用国土緑化運動・育樹活動ポスター原画コンクール 入選作品



高山市立東小学校4年
矢篋原 綺乃さん

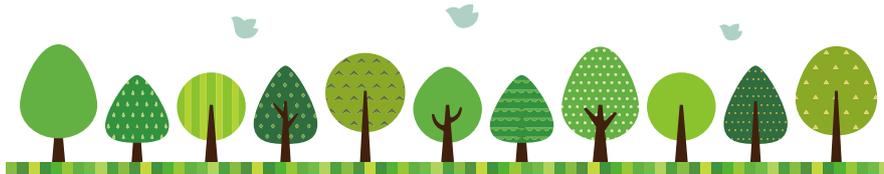
入選
国土緑化推進機構理事賞



岐阜県立揖斐高等学校3年
後藤 愛未さん

入選
国土緑化推進機構理事賞

●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-1111 内線 (3035) 恵みの森づくり推進課緑化推進係まで



コラム

森林のたより「研究コーナー」は森林研究所の職員が執筆しており、研究員の数が増え、現在は12名です。ほぼ毎年1回は原稿を書くこととなります。内容としては、以前に発表した報告書や論文を判りやすくまとめたものや、現在進行中の研究内容などを取り上げたもの、研究成果を小出しにしたものなど様々です。分野も森林施業、森林管理、育種、山地防災、特用林産、木材など幅広いですが、全員が執筆しますので年間分をまとめて読めば、研究所が行っている凡その内容が掴めるといえます。

編集委員としては、原稿のメチが近付くと「誰が何を書くのだったかな」とか「分り易いかな」とか少しだけ落ち着かなくなります（自分の分も含めてです）。読者の方で普段、森林研究所を訪れる方は少ないかもしれませんが、記事を読んで少しでも身近に感じていただければ幸いです。また、ご意見・ご感想もお待ちしております。

「森林のたより」編集委員 土肥 基生

イベント情報 4月1日発行

連載

- 山の歳時記 (200)
- 山のおじまむし (369)

清流と森と親しむ

- 森林と人を活かす知恵 (111)

木と親しむ

- 岐阜県の公共木造建築 (109)

清流の国ぎふ森林・環境税

森林・林業技術

- 研究・普及コーナー

市況情報 **その他**

4月号 予定

市況

木材市場

木材市況 県森連 岐阜・飛騨・東濃林産物共販所 単位:円(1㎡当たり)

回数 共販所名	樹種	長さ	径	平均値	高値	備考	
第1783回 岐阜共販所	すぎ	3 m	16~18cm	17,000	—	単価は直材 価格、但し 平均値は並 材二番玉価 格	
		4 m	16~18cm	16,000	—		
			20~22cm	17,800	—		
			24~28cm	17,500	—		
	6 m	16~18cm	—	—	24,000		
	2月8日	ひのき	3 m	16~18cm	31,500		—
			20cm以上	29,000	—		
		4 m	16~22cm	30,000	—		
			24~28cm	23,500	—		
			30cm以上	23,000	52,000		
6 m		16~18cm	—	—	—		
第1365回 飛騨共販所	すぎ	3 m	16~22cm	15,000	—		
		4 m	24~28cm	15,000	—		
			30cm以上	14,500	17,300		
	ひのき	3 m	16~18cm	31,000	—		
		4 m	20~22cm	29,000	—		
			24~28cm	24,000	—		
			30cm以上	25,000	56,600		
	2月9日	ひめこ	4 m	24~28cm	14,000	17,000	
			30cm以上	15,000	26,000		
		くり	4 m	24cm以上	15,000	39,000	
—			—	—	—		
第1697回 東濃共販所	すぎ	3 m	16~22cm	17,000	—		
		4 m	24~28cm	17,000	19,000		
			30cm以上元	14,500	30,000		
	ひのき	3 m	16~22cm	31,500	38,000		
			24~28cm	25,000	35,000		
			30cm以上元	27,000	80,000		
		4 m	13cm以下	10,000	—		
			24~28cm	24,500	—		
			30cm以上元	27,000	120,000		
	2月10日	まつ	4 m	22~28cm梁	7,000	—	
30cm以上元			9,000	—			

【商況】

需要高は継続しており強含み感がみられるが、燃料高、各種原材料高等不安要素は払拭されておらず、今後の動向に留意が必要。スギ4m元木中目、尺上良材は応札多数、強含み。40cm上元木も入札多数。スギ並材3m・4m需要高ではあるが、価格は保合。3m(16~22cm)直造材が有利。スギ ラミナ向け3m・4m材、引き合い強く強保合。ヒノキ柱材、土台向け継続して保合。直造材が有利。4m中目(24~28cm)は弱保合。ヒノキ2.2m元木(26cm上)、直・小曲、需要あり。合板向けは需要旺盛、スギ、ヒノキ継続して在庫不足。製紙向けパルプ材、発電向け未利用材ともに在庫不足、需要高。(岐阜)

スギ、ヒノキは全般的に横ばい。ヒメコ、アカマツは応札旺盛。特にヒメコ4m・5m・6m(30cm上)良材については強含み。広葉樹は出材量が多く並材・良材ともに応札旺盛。(特にクリ2.3-4m(30cm上)応札旺盛。高値トチ2.1m(32cm)@39,000円、ブナ2.1m(26cm)@26,000円、マクルミ4.2m(26cm)@26,000円)(飛騨)

ヒノキ並材3m特一は保合で横ばい。3・4m中目は弱含み。ヒノキ元木 良材2m・3m・4m(高齢材及び枝打ち材など(特殊材))には、応札旺盛にて保合。スギ並材は売りやすく大径材は売れ行き堅調も単価は保合。全般的に、ヒノキ・スギ並材(16~22cm)は、応札旺盛にて保合。小径木3m(8~13cm)は不振につき、4m(8~13cm)造材が有利。(東濃)

製品卸売標準価格 (1月期) (単位:円)

樹種	用途	寸法(mm)			等級	m ³ 当り 価格	(本(枚)単価)	前月 比較
		長	巾	高				
スギ	柱	3000	105	105	1等	100,000	(3,308)	→
	間柱	3000	105	30	1等	100,000	(945)	→
ヒノキ	土台	4000	105	105	特等	140,000	(6,174)	↘
		3000	120	120	特等	120,000	(5,184)	↘
	柱	3000	120	120	(東濃松)特等	—	—	—
		6000	120	120	特等	180,000	(15,552)	→
W集 ウッ ド材	柱	3000	105	105	国産5層	167,000	(5,500)	→
		3000	120	120	国産5層	163,000	(7,000)	→

※日刊木材新聞調べ(名古屋標準相場 全てKD材)

外材市況 (1月期) 1㎡当り(価格単価:100円)

樹種	規格	価格	樹種	規格	価格
米松	SSタイプ	421	米梅	へム(アラスカ産)	385
	コスト(目荒)	396~407	米ひば	ポール	378

日刊木材新聞調べ(名古屋標準相場(径級は30cm上、米松コストのみ大阪相場))

J-クレジット制度

木材用語一ロクモ

省エネルギー機器の導入や間伐促進などの取り組みにより削減・吸収されたCO₂などの温室効果ガスの量を、「クレジット」として国が認証する制度。認証されたクレジットは、省エネ法や温対法に基づく報告やCSR活動などに活用できるため、企業などが購入している。

(参考)日刊木材新聞社 木材・建材用語辞典

木材SCM支援システム

MOLINK

もりんく

木材SCM支援システム「もりんく」は林野庁の補助事業により開発されました。

無料でPRページが作成可能

事業者情報を登録することで、事業や製品のPRページとしてご利用いただけます。

事業者を検索

取引先を地域や製品等から検索し、コンタクトをとることができます。

便利な業務ツール

木材関連事業者の業務で使える表計算シートや統計資料等をダウンロードできます。

コミュニケーション

事業者間の需給情報共有や取引に関するコミュニケーションを掲示板やチャットでできます。

まずは事業者登録(無料)から!

お試し用にゲスト登録もできます。

検索または二次元コードよりアクセスできます。

もりんく 検索 <https://molink.jp>



岐阜県サプライチェーンマネジメント推進フォーラム(事務局:岐阜県木連内)TEL 058-271-9941